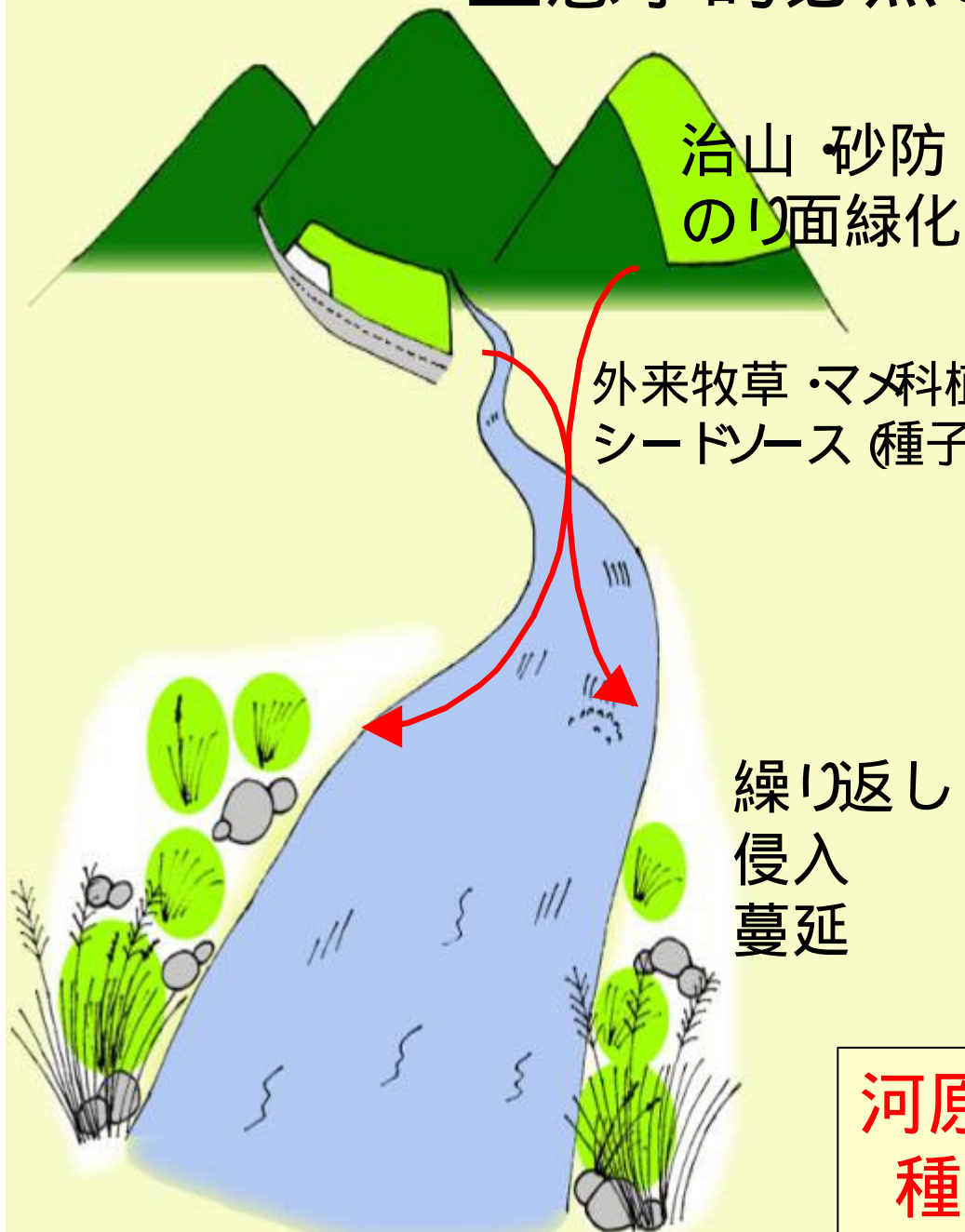


生態学的必然といえる外来牧草の侵入



荒地、氾濫原、乾燥地を生育場所とする植物
頻繁な攪乱、強い日射、土壌の乾燥などの厳しい条件に適応

乾燥や強い日射への耐性

人為選抜を受けて
緑化材料として商品化

意図的に導入 (大量播種)

繰り返し必然的に侵入

河原や造成地に群生繁茂して
種子をシードソースを拡大

外来牧草の侵入河川数 (1999年まで)

国土交通省の直轄河川109水系123河川中・・・

シナダレスズメガヤ・・・105河川 (85%)
(ウィーピングラブグラス)

オニウシノケグサ・・・107河川 (87%)
(トルフェスク)

河川水辺の国勢調査

広大な外来牧草群落が生シカの分布 拡大と生物多様性への影響を助長？

亜高山帯

湿原

足尾鉦山跡の広大な牧草緑化地
奥日光・尾瀬の生物多様性への
影響が懸念される

山地帯

落葉広葉樹林

シカは夏は山全体に広がり、
冬に低地へ移動してくる。

足尾鉦山跡

餌の豊富な越冬場所



花粉症の原因にも・・・



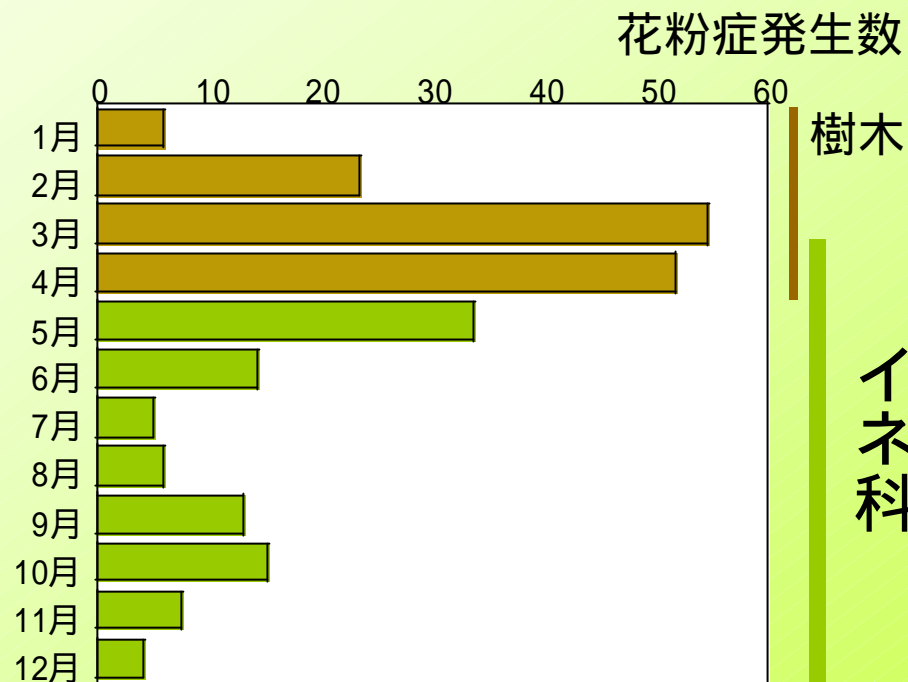
1984年

府中市、多摩川沿いの小中学校
原因植物：カモガヤ、ホソムギ等

1994年

江戸川ジョギングコース
葛飾区金町小学校の3年生
原因植物：ネズミホソムギ等

イネ科花粉症はスギ花粉症の次に
発症例の多い花粉症原因植物



岐阜の例（患者208人対象の調査）



生物多様性・生態系の健全性をそこなわない緑化

二次遷移のプロセスを尊重

日本の二次遷移の特徴

初期から先駆性木本
/林縁性低木が回復

(牧草群落はその回復を
阻害することもある)



生物多様性・生態系の健全性をそこなわない
のり面処理/緑化技術

- **土を押さえるための地域植物資材の活用**

ex) 間伐材、粗朶、カヤ、
ヨシなど

- **土壌シードバンクの活用**

ex) 箕面川ダムでの成功例

- **種子移入の促進**

ex) 林縁性樹種の早期導入

- **地域の在来種種子を導入**



